

排水施設使用許可申請書

(記入例)

平成 年 月 日

泉佐野市長 様

申請者
(使用者) 住所
氏名 印

施工業者 住所
氏名 印

連絡先 住所
氏名 印不要
(担当者) 電話

標記のことについて下記のとおり申請いたします。

使用者名	〇〇太郎	浄化槽の構造設計人員を記入(5人槽なら5)	
設置場所	泉佐野市〇〇町〇〇番	雨水の流量計算に使用した面積を記入 雨水を排水しない場合は、記入不要	
管径	内径 〇〇〇 mm (2箇所排水する場合は同一口径なら×2、別ならその口径を記入)		
排水の種類	(例) 合併浄化槽汚水、雨水	右の例に基づいて、計算した排水量を記入 汚水、 雨水を排水する場合は両方、それ以外片方のみ記入	
計画汚水人数	5 人	雨水排水面積	ha
排水量	汚水 Q=	m ³ /sec	雨水 Q= m ³ /sec
上記排水量については、小数点第5位以下切上げ4位止めとすること。			
着工予定	H 年 月 日	竣工予定	H 年 月 日

着工予定及び竣工予定は余裕を持って記入

添付書類

1. 位置図。平面図(宅地内排水計画図)。市施設管への接続詳細図。計画接続部現況写真。
2. 工事完了後、市施設管への接続部写真を提出のこと。(既設管現況、管径、土被り、支管接続部)
3. 流量計算書

ア. 汚水を流す場合

(例. 計画汚水人数100人の場合)

$$Q = \frac{0.850 \times 100 \text{人}}{86400} = 0.00098$$

$$= 0.0010 \text{ m}^3/\text{sec}$$

イ. 雨水を流す場合(排水面積計算書)

$$Q = \frac{1}{360} \times C \times I \times A$$

C : 流出係数 (0.9)
I : 降雨強度 (55 mm/h)
A : 排水面積 (ha)
1ha = 10,000 m²

(例. 0.1haの場合)

$$Q = \frac{1}{360} \times 0.9 \times 55 \times 0.1 = 0.01375$$

$$= 0.0138 \text{ m}^3/\text{sec}$$

4. 施工業者の建設工事入札参加資格審査申請書の受領書の写し。

原則として泉佐野市もしくは大阪府のどちらかの指名業者であること。
ただし、やむを得ない場合はこの限りではない。

5. 10人槽以上の浄化槽を設置する場合は、漁業協同組合の協議結果報告書を添付すること。
その他、地元関係(土地改良区、町会長等)の協議結果報告書も必要な場合は添付すること。

※注 正・副一部ずつ、合計二部提出すること。(副についてはコピー可)

施工業者名

業 者 名	左の施工業者と同一の業者名を記入		
現場責任者氏名		電話	